

平成 30 年度 第 2 回高知市食育推進会議 議事録

日時：平成 30 年 10 月 23 日（火）18：30～20：30

場所：総合あんしんセンター 3 階 中会議室

1 開会（司会：健康増進課 課長補佐）

2 議事

①高知市食育に関するアンケート調査の集計結果について

資料 1 を用いて事務局が説明

【①に関する主な意見の要約】

〈会長〉

1 回目の会議でアンケート調査の内容について皆さんに考えていただきました。9 月までの実施で、すぐにまとめていただいております。ご質問・ご意見がありましたら、お願いします。

スライド 32 について、「減塩に気をつけた取組」の下の N 数が、回収数ではなく対象者数になっているのではないのでしょうか。

〈健康増進課〉

間違っています。また確認をしておきます。ありがとうございました。

〈会長〉

他にないでしょうか。ご説明いただいた内容について、資料 2 の 3～4 ページに特徴的なところを書き出されています。若い世代に、朝食など課題が多かったように思いますが、皆さん、どんな風にお感じになったのでしょうか。

子供のことについてはいかがでしょうか。

〈委員〉

やはりこの結果からも、早寝早起き朝ごはんというのが大事なのかなというのがわかります。夜寝る時間が遅ければ、朝ごはんを食べられない。夜遅くまで起きていたり、夜の間食があることで、朝食欲がなかったり、時間がないということにつながっているのではないかと。それを証明されるような結果ではなかったかなと感じました。

〈委員〉

スライド 24 「70 歳代の孤食」で、全国よりも孤食が多く、一方、スライド 28 「地域等での共食」で、そういう場があればぜひ参加したいと思う人も多い。子供食堂はありますが、孤食の高齢者の方に、そういった場の提供があればいいなと思いました（誰がやるかというのは別の議論になります）。

〈委員〉

子供食堂の運営支援をさせていただいています。最近では半分ぐらい、高齢者の方も子供食堂に来られているような状況になってきております。高齢者が利用者としてだけでなく、ボランティアとして調理の部分で役割を担いつつ、最後には皆で一緒にごはんを食べて帰るというようなことが出来てきています。「子供食堂」という名前で、高齢者の方がなかなか入っていきにくいというご意見もいただきます。子供が入りやすいように「子供食堂」というネーミングにしていますが、地域の皆が入っていけるような、食の集いの場ということにしていきたいということを、住民の方や地域の方にお話ししています。

子供たちに美味しいものを食べてもらって「また作りたい」と思ったり、お家で研究してそれを披露する場面があることは、高齢者の役割や生き甲斐にもつながり、高齢者ご本人の孤食や食の偏りというものもなくなるのではないかと、実際に子供食堂の運営支援をしていて感じているところです。今実際に市内で30か所になってきていますので、小学校区に1か所作るということを目標に、頑張っけて広がっているところです。

〈会長〉

ありがとうございました。子供食堂の参加者の半分以上が高齢者というのを教えていただき、そういった機会に、アンケートにもあるような「高知の食文化の伝承」などができるのではと思いました。

〈委員〉

食文化の継承に関しましても色々ありがとうございます。若い世代の方が「伝統的な行事の食べ物」や「高知ならではの食」というのを、どういうものをイメージされて、こういうアンケート結果が出たかなというのにすごく興味があります。スライド42の「高知ならではの料理や食材を食べたことがあるか」について、非常に高いですが、給食など、栄養士さんたちが工夫して提供してくださったおかげかなと思いました。

議事

②第2次高知市食育推進計画の総括および第3次高知市食育推進計画の素案について

資料2を用いて事務局が説明

【②に関する主な意見の要約】

〈委員〉

5ページの「健康な心身をはぐくむ」の「朝食をほとんど毎日食べる市民の割合」ですが、幼児については良い数値が出て、達成率がすごくいいと思います。先ほどのアンケートの結果で見ると、スライド9では幼児の保護者を抜き出してグラフが示されていましたが、5ページ表の20～30歳代には、幼児の保護者も含まれているのでしょうか。

〈健康増進課〉

成人対象のアンケート（無作為に、人口の構成割合から抽出した対象者）で回答があった20～30歳代のみです。幼児の保護者は、限定した集団になるため、目標値に関する数値には入れておりません。

〈委員〉

子供には食べさせても、自分は食べないのかなと感じてしまいました。

<健康増進課>

幼児対象のアンケートでは、幼児についてと、保護者について、別々に朝食の摂取状況を聞いています。成人対象アンケートの20～30歳代の中にも、お子さんがいらっしゃる方がおいでるかもしれませんが、世帯構成なども一応は聞いていますが、どれくらいのお子さんがおいでるかとか、そこまでは把握しておりません。

<委員>

朝食をどこで食べるかというところに興味があります。「どこで食べるか」と「栄養バランス」がリンクするのではないかと。最近では、コンビニでパンなど色んなものを買って食べている若い人が見受けられます。そういう場合も朝食を食べるところに入っているのでしょうか。自宅で食べるのか、コンビニで買って食べるのかということまでは、なかなか読み取れないとは思いますが。そういう課題というのは、いかがでしょうか。

<健康増進課>

アンケート調査では、ご本人の中で、「ほとんど毎日食べる」「週4～5日食べる」などの頻度を選んでいただくのと、朝食欠食の理由についてのみになります。朝食についてはありませんが、スライド18・19のところで、中食に関して調査をしています。中食の選び方について、20～30歳代では「その時の気分」が一番多く、そういうところからは、20～30歳代の食事の中身はどうか、コンビニで好きなものだけを買って食べていないかというのはあります。一方、幼児の保護者の中食の選び方は「栄養バランス」が一番多く、お子さんがいたら栄養バランスを気にするのかなと。保護者の年代を見てみますと、ほとんどが30歳代で、20歳代は独身者が多いかなと推測しますが、そうすると、自分の気分で、自分の好きなものを食べているかなという印象はありました。また、70歳代になったら「好きな料理」を選んでいる方が多く、栄養バランスとの関係があり、気をつけていかないといけないというのは、今回のアンケートで読み取れるのではないかと思います。

<会長>

6ページの課題のところ、若い人と高齢者のことはあるが、働き盛りの部分がないと思いました。メタボ予防の「食生活に気をつける市民の割合」では数値が下がっており、そのあたりも課題ではないかと思いました。

昨年の健康づくり計画を策定する際のアンケート結果で、「栄養成分表示を見る」という結果が、たしか20%くらいで、2割の人しか見ていないというのがあったかと思います。取組のところになってくるかなとは思いますが。また、野菜350gを知っている人の割合や、1日の塩分量を知っている人の割合も、半分以上の人しか知らないという結果が出ていたように思いますので、課題として入れるのか、後の取組の中に盛り込むか、ご検討いただけたらと思いました。

<委員>

3次計画指標の中で、「高知の食を選ぶ」の「地場産品を活用する割合」について、この数値は具体的にどのように出すのでしょうか。例えば、何かの平均であるとか、期間を決めてその平均値を取るなど、色々やり方があると思います。保育所も学校も大体40%、50%と高い数値ですが、いかがでしょうか。

〈教育環境支援課〉

学校については、6月の週間を決めて、高知市全体の学校給食に活用する地場産品の割合を拾っています。実は、重量ベースで目標を68%と立てて、これまで取組をしてきましたが、高知の食材を見た時に、重量では頑張っても限界があり、出来るだけ高知の食材を紹介していくという目的を持って、食材数ベースに、国の目標の50%を目標値として設定し、取り組んでいこうというふうに今回の指標を設定しました。

〈保育幼稚園課〉

保育所の場合は、高知県が2月に時期を決めて、給食で使用している地場産品の割合に関する調査を実施しており、その数値をこちらに掲載しています。

〈委員〉

いつ調査をするかで、数値が変わってくると思います。時期はこちらで選べるのでしょうか。

〈教育環境支援課〉

学校につきましては、国が実施する産地調査で6月と11月に調査を実施することになっており、国や県と比較できることもあり、それに合わせて時期を設定しています。

〈会長〉

⑫の指標「食に関する指導計画」について、保育所・幼稚園・認定こども園とありますが、小学校も実施しているのではないのでしょうか。なぜ入っていないのかと思いましたので。

〈教育環境支援課〉

小中学校につきましては、食に関する指導の全体計画は、現在100%となっています。これからは年間指導計画について数字を上げるところではありますが、一定、高知市は目標を達成したため、ここには載っていません。

〈会長〉

10 ページ「第4章 取組の柱と具体的な取組」について、委員の皆様にご意見いただきたいと、事務局から説明がありましたが、ご意見等ございませんか。2つの取組の柱と全部で10項目の具体的な取組ということですが、次の作業に移るためにも、本日、このようなまとめ方でいくのかどうかを決めたいという意向ですが、概ねこの形でよろしいのでしょうか。会議後に気になることがあれば、事務局の方へ連絡していただくことでよろしいのでしょうか。

※質問・意見なし

〈会長〉

そうしましたら、11 ページ以降について、まだこれから詰めていくところではありますが、事前に御覧になって、ご意見等ございませんか。

13 ページ「②生活習慣病を予防するための取組」について、28年度に実施した高知県県民健康栄養調査で高知市が7か所調査を実施しており、250 数名の調査結果が出ていたので、その分を現状と課題のところに入れてはどうでしょうか。成人の塩分摂取量の認知度が45%くらいで半分以下であったこと、野菜摂取に関することなど、高知市分としてわかっているものを拾い出してみてもいいかと思いました。また、子供の肥満のことも気になりました。

<委員>

18 ページ「①環境を大切にするための取組」で、食に関して環境を大切にすることではあります。中食のパーセンテージもずいぶん高かったのも、現在プラスチック問題など容器の問題もありますし、食材そのものと同時に包装や容器といった視点でも、環境を大切にするための取組につながることをひとつ入れてもいいかなと思いました。

<会長>

目標設定のところに戻りますが、「安全安心な食を選ぶ」の食中毒予防の現状値が、他に比べて低いのですが、全体を見ていて、60、70とか90とあるのに、14.1%ということで、これはアンケートの質問の全部の項目を知っていた人の割合で数値が出ているので、少し厳しいのではないかと思います。例えば、食中毒予防の三原則を知っている市民の割合とかだったら、もっと易しくて、数値も上がるのではないかと、今頃ですが思いました。

<健康増進課>

食中毒予防の数値が下がったことについて、アンケートの選択肢を前回と変えており、前回よりも少し項目が難しいというか、設問が詳しくなっており、またアンケートの対象年齢が前回20～60歳代から20～70歳代になったことも影響したのではないかと思います。項目別で見れば、鶏肉の生食の危険性に関しては認知度が高かったですし、前回と同じような質問をしている項目に関しては、上がっている項目もあったかと思えます。

<会長>

それでは、最後の第5章について、ご意見等ございませんか。

※質問・意見なし

3 事務連絡

<健康増進課>

①会議後のご意見等について

本日の会議後、お気づきの点などございましたら、10月31日(水)までに事務局へお願いいたします。

②第3回高知市食育推進会議 日程調整について

次回、第3回高知市食育推進会議を12月に予定しています。当日配布資料の中にあります「第3回高知市食育推進会議 日程調整」により、11月2日(金)までに事務局へファックス等でお知らせいただきますようお願いいたします。

4 閉会